

秩父夜祭 祭礼区域・笠鉾屋台曳行図

笠鉾・屋台は、国指定重要有形民俗文化財となっており、屋台行事と神楽も国指定重要無形民俗文化財となっています。

上町屋台 高さ約6.7m 重さ約13t

屋根は4台の屋台の中で最も大きい。軒の出も多く華麗な屋台である。牡丹に唐獅子の水引幕、鯉の滝昇りの後幕の刺繍も見事。

中町屋台 高さ約6.7m 重さ約14t

屋台の前後を飾る鬼板は、4台の屋台の中で最も大きい。その彫刻は、天の岩戸開きやスサノヲミコトの大蛇退治など日本神話を題材にしている。

中近笠鉾 高さ約5.5m 重さ約15t※

総体黒漆で、随所に金具を打ち、鬼板、懸魚(げぎょ)、妻飾りなど極彩色の彫刻を飾った宮殿風な構え。勾欄(こうらん)の丸彫金箔押の龍や内室の二十四孝の彫刻は見どころ。※笠装着時の重さです。

本町屋台 高さ約6.5m 重さ約12t

彫刻や装飾など金箔押しの上に彩色をする贅を尽くした造りとなっている。後幕は玩具を積んだ宝船の刺繍が施され、中央のダルマが特徴的である。

下郷笠鉾 高さ約7m 重さ約20t※

6台の笠鉾・屋台の中で最も大きく、重量もある。白木で仕上げられた本体に金の飾り金具が神々しさをかもし。通常は中近笠鉾と共に笠をはずして曳き廻される。※笠装着時の重さです。

宮地屋台 高さ約6.5m 重さ約12t

秩父祭屋台のうち最も古く、端正な姿をとどめている。後幕は、想像上の靈獣・狸猩(しやうじょう)。水引幕は飛鶴の刺繍である。

- 凡例**
- 2日・11:00~20:00(車輛通行止)
 - 時間帯による歩行者の通行規制箇所**
 - 3日・17:30頃~(御旅所内通行止)
 - 3日・17:30頃~(屋台巡行の為、通行止)
 - 3日・18:30頃~(屋台巡行の為、通行止)
 - 3日・19:00~22:00(屋台巡行中の一時規制)
 - 観覧推奨ポイント**
 - 屋台・笠鉾の見やすい場所(3日)
 - 屋台・笠鉾の曳行ルート**
 - 2日・12:00~16:30(一部午前~)、18:00~20:00
 - 3日・9:00~12:00頃(一部16:00頃まで)
 - (秩父神社宣参り及び市内曳き廻し)
 - 3日・18:00頃~(御旅所へ向けて秩父神社出発)



秩父夜祭のみどころ

やたい しばい 屋台芝居
 3日11:00~14:00美宝会館前にて、屋台の両脇に張出舞台をつけて演じられる「屋台芝居」。宮地・本町・上町・中町の各屋台により4年に1度ずつの回り番となっており、今年は上町屋台での上演です。

まわ り 廻し

屋台や笠鉾の方向転換は「ギリ廻し」と呼ばれ、テコの応用で山車を浮かし、軸を中心に回転する方法などを行います。重さ数十トンの屋台・笠鉾が大きく傾き、「玉入れ」という小太鼓の曲目が演奏されます。

やたい ひ おど 屋台曳き踊り

屋台町である宮地・上町・中町・本町の各町内ごとに街の辻や他町会所前、秩父神社の神門前などに屋台を止めて、長唄の曲を演奏する地方と踊り手である立方により曳き踊りという所作事を奉納します。



秩父夜祭絹市開催

かつて秩父夜祭は、絹市(絹の取引)が開かれ発展しました。その絹市を復活し、織物、工芸品、地場産品などの販売を行います。



- 日時** 12月2日 月 11:00~19:00 3日 火 11:00~20:00
- 場所** 黒門通り、貫継商通り(秩父神社より徒歩1分)
- 内容** 絹関連商品の展示・販売、伝統工芸職人展、秩父の食、秩父銘仙いどばた会議 他

秩父まつり会館

TEL 0494-23-1110

開館時間	入館料	
	一般	小中学生
12月2日・9:00~20:00	500円	250円
12月3日・9:00~21:00	450円	200円

(団体は25名様以上)

※入館受付は閉館時間の30分前まで
 ※通常時の開館時間は、9:00~17:00(12月~3月は10:00開館)